

私は七十近いんでありますから、自分は今もう余命はそう長くはありますまい。けれども私が今、できるだけのことをすることによって、いまからわれわれのあとに続いてくるところの乳幼児を守り、そして青年にいつまでも働いてもらうために、そうした四日市をつくる健康な四日市市民をつくるためには自分だけのことを言わないで、せめて自分が苦痛のなかからだけでも、動くことによつて、はたらきかけることによつて、住みよいほんとうの四日市をつくる気持でまいりたいと思います。そのために、どうぞ皆さんの力を合わせていきましよう。……もしも私たちに力をかして下さる方々があるのなら、それは保守党であろうと革新党であろうと何の関係もございません。